

鳥取市庁舎耐震改修及び一部増築案に関する 調査業務

第2回調整会議資料

日 時 : 2012.10.05(金)13:00-

場 所 : 鳥取市役所

議 題:

-
- I. 調査案の課題事項 その1
A 既存本庁舎改修
① 質疑応答1
 - II. 調査案の課題事項 その2
B 新第2庁舎、半地下駐車場
② 質疑応答2
 - III. 調査案の課題事項 その3
C 工期 D 建設費等
③ 質疑応答3
 - IV. 調査案の課題事項 その4
E 今後、検討を要する課題
④ 質疑応答4
 - V. 次回予定等

■調査案の課題事項

A. 既存本庁舎改修

1) 免震改修の工法「1階基礎免震、地下1階柱頭免震」

●「現状維持を基本とする」が電気設備及び空調設備で実現できない

・電気設備(受変電設備、自家発電設備)は新規設備

⇒エネルギーセンターもしくは新第2庁舎の先行建設が必須

⇒工期が3年～必要となる

・空調設備は別のシステムへの変更が必須

⇒上記に伴い、内装工事の共連れ工事も発生(居ながら工事難しい)

2) 居ながら工事

●居ながら工事が出来ない(前提の見直しのご了解)【図1参照P2】

1階一床が土間コンのため、床を撤去、再構築する必要がある

全階一柱頭免震を択した場合、空調のやり換えが必要となり、居ながら工事が困難

外壁改修(2重サッシ)改修は居ながら工事に影響

3) 解体範囲に南側1階部分を追加

●南側1階部分を解体範囲に追加する必要がある(追加のご了解)【図2参照P3】

本庁南側1階部分(銀行増築)(49.42㎡)を解体範囲に追加(図:説明資料)

B 新第2庁舎新築、半地下駐車場

・駐車台数および駐車方式

●駐車台数(150台)が納まらない(50台程度不足)【図3参照P4】

2 前回調整会議にて提示のあった計画内容

・半地下駐車場及び新第2庁舎の駐車場のレベル設定の見直しが必要【図4参照P5】

半地下駐車場西端:広場レベルGL+1.0m、駐車場レベルGL-2.0m(階高3m)

新第2庁舎 :1階レベルGL+1.5m、駐車場レベルGL-1.6m(階高3.1m)

駐車場有効天井高 2.3m

3 前回調整会議にて質疑のあった事項

・渡り廊下

構造の考え方とつなぎ方【図5参照P6】

C 工期

●見直しが必要となる可能性が高い

約2年 平成26年度中の整備完了(仕様書案の概要【参考】に記載)

D 建設費等

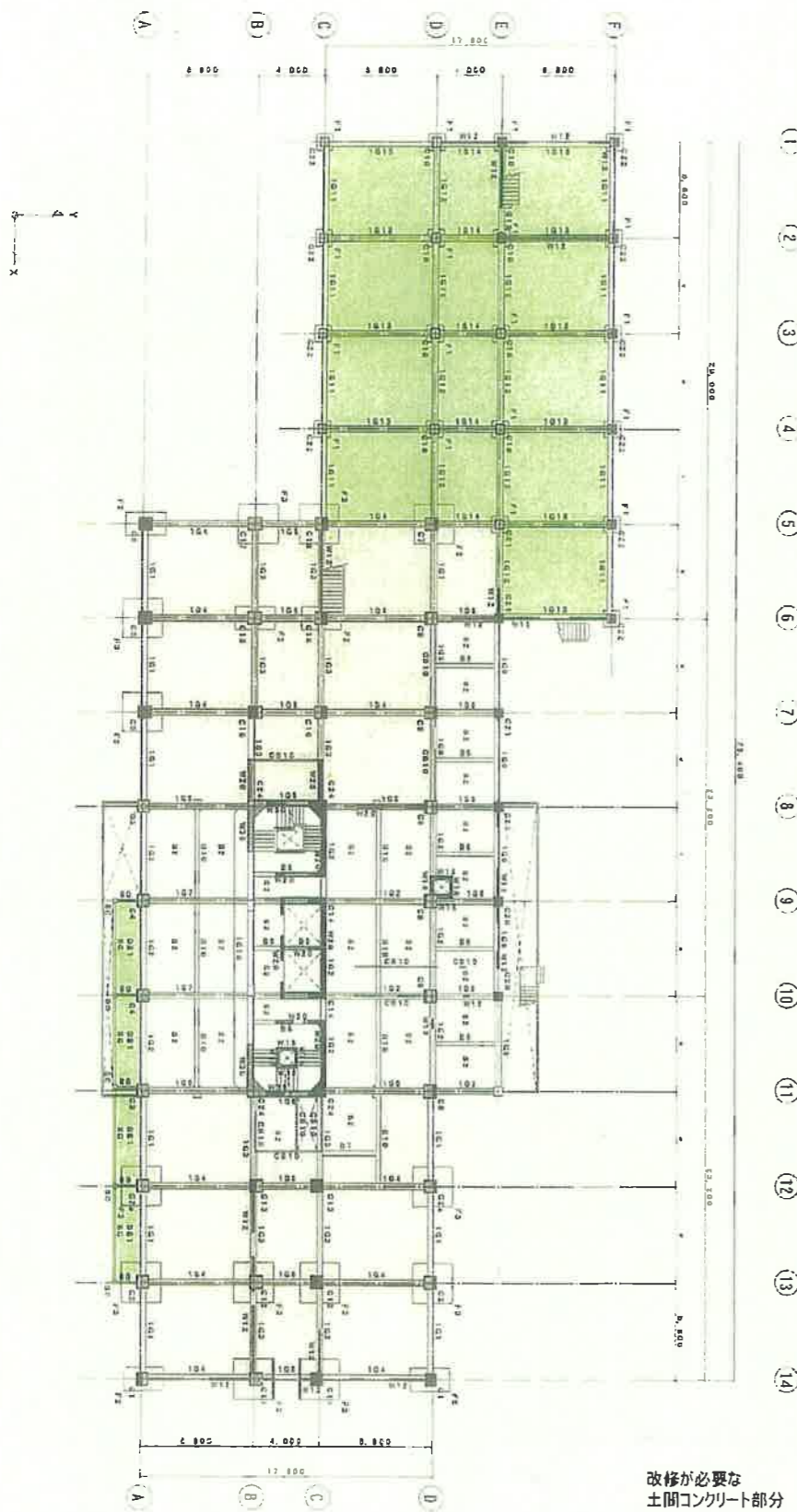
●見直しが必要になる可能性が高い(計画条件の設定によっては)

約20.8億円(建設費約20.0億円、設計監理費約0.8億円)

E その他、検討を要する課題

- 1) 本庁:構造体以外の耐震性能(建築非構造部材:A類、建築設備:甲類)
- 2) 本庁:建物の安全性(防火性能)についての方針立(既存不適格事項)ー既存遡及
- 3) 本庁・第2庁舎:環境性能の設定(PAL、CASBEE、CO2排出量等)
- 4) 本庁・第2庁舎:BCP対策(大規模震災、浸水)
- 5) 第2庁舎:バリアフリー対応のための面積増

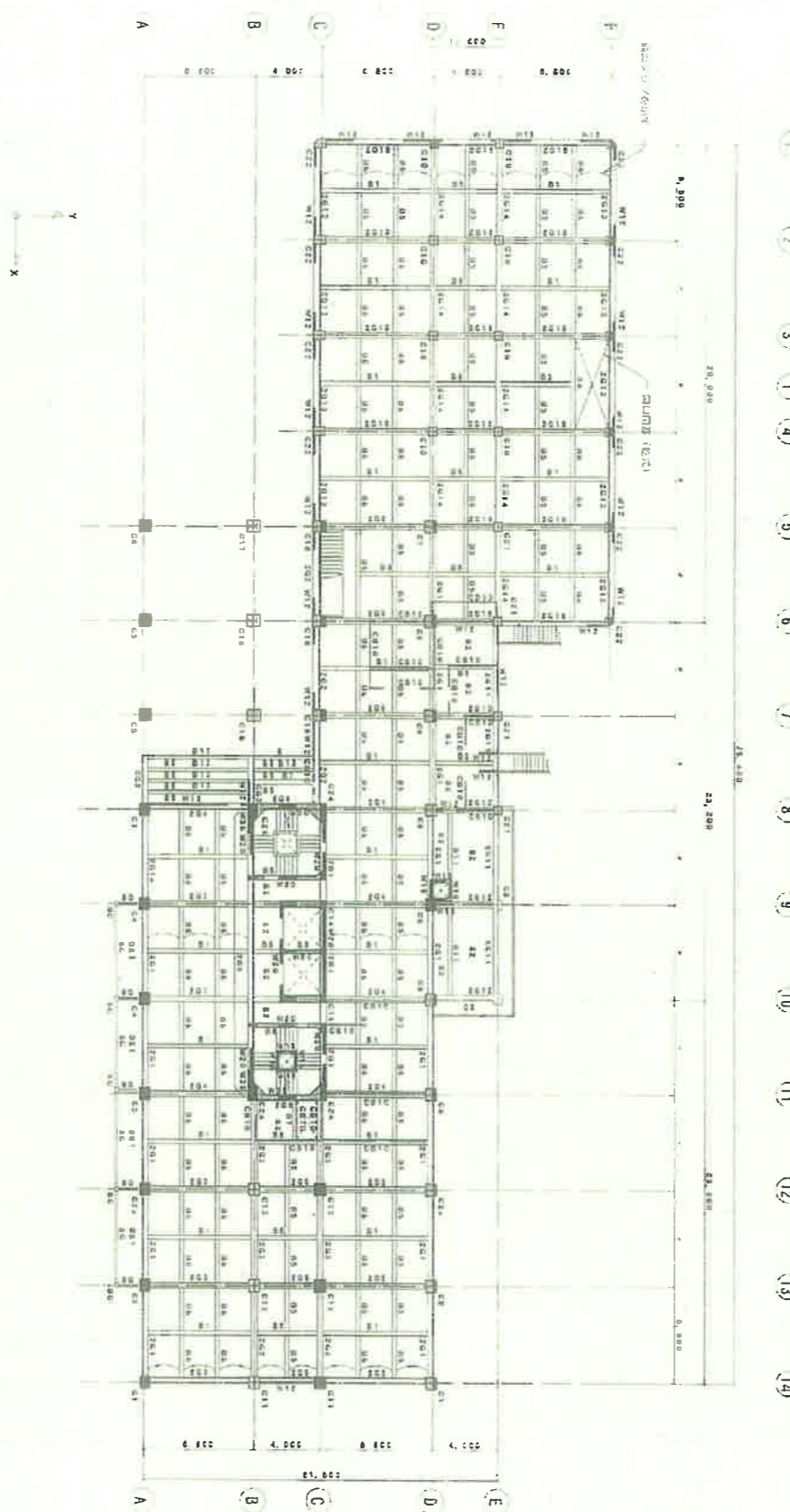
■土間スラブ範囲



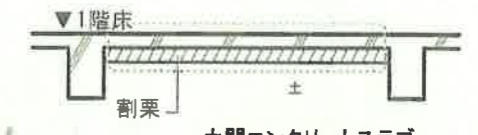
1階梁伏図 (A3 1/250)
 特記なき限り下記による。
 1 スラブは土間コンクリートとする。

改修が必要な
土間コンクリート部分
解体部分

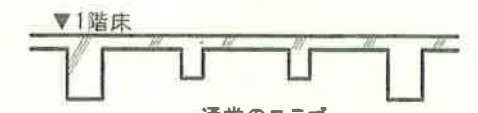
■土間スラブについて



2階梁伏図 (A3 1/250)
 特記なき限り下記による。
 1 スラブ符号は51 (階面スラブ) を示す。

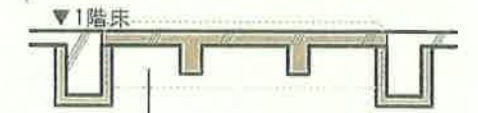


・土間コンクリートスラブ
 地面に直接コンクリートを打って作られた床。地面に床の荷重が載っているため土が無くなるとスラブがもたない可能性がある。



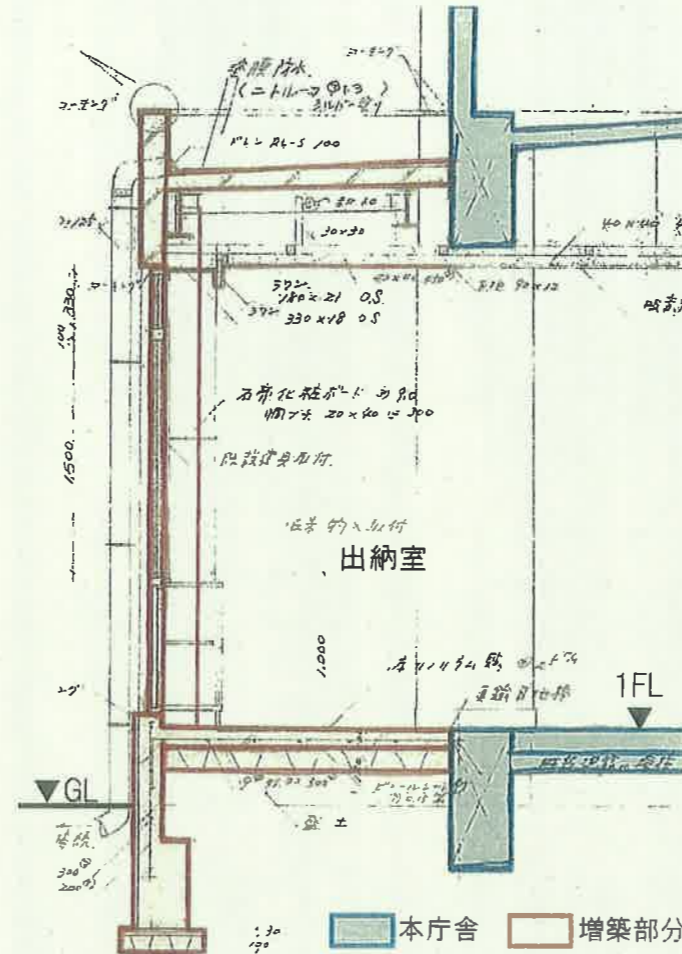
・通常のスラブ
 大梁に小梁を渡し、その上にコンクリートを打った床。小梁があるため土部分が無くても問題ない。

改修の
必要有り

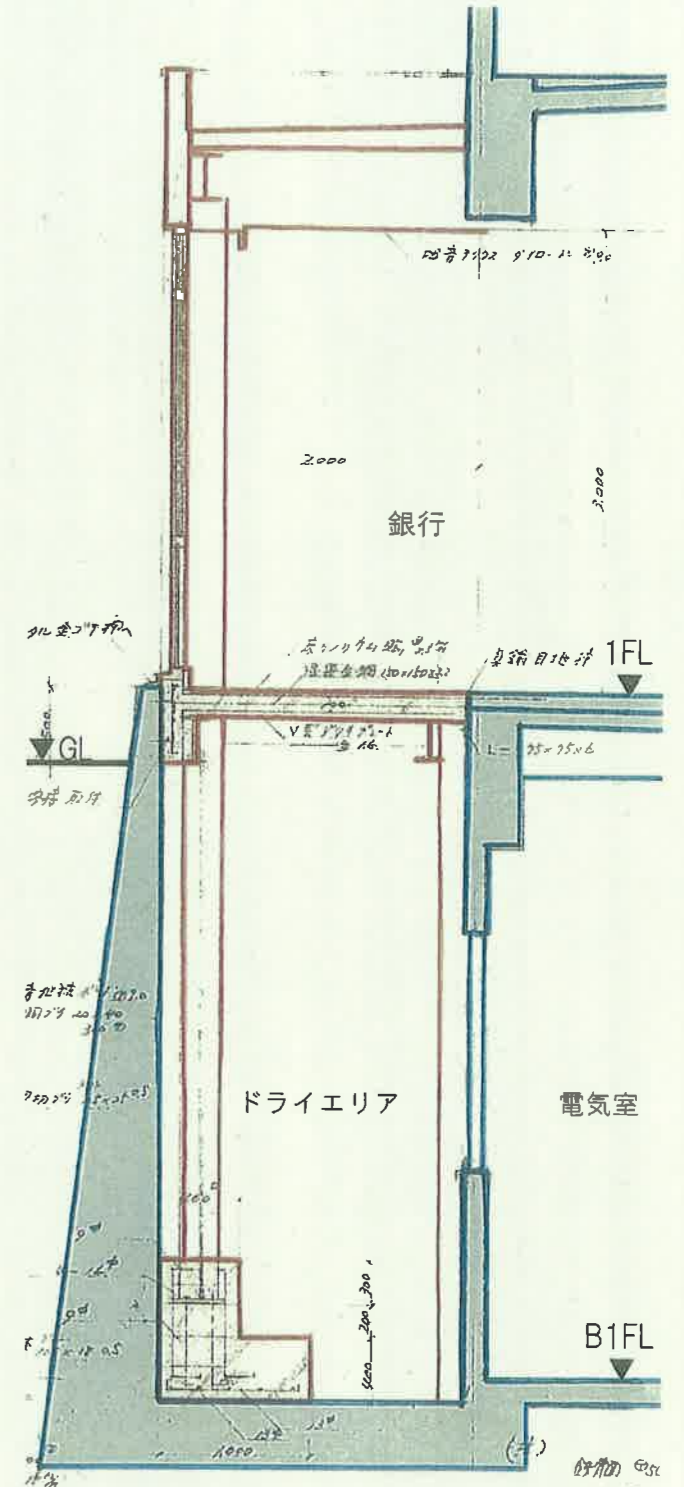


・改修範囲(赤部分)
 土間コンクリートを解体し小梁及び床版を打設するため、居ながら工事ができない。

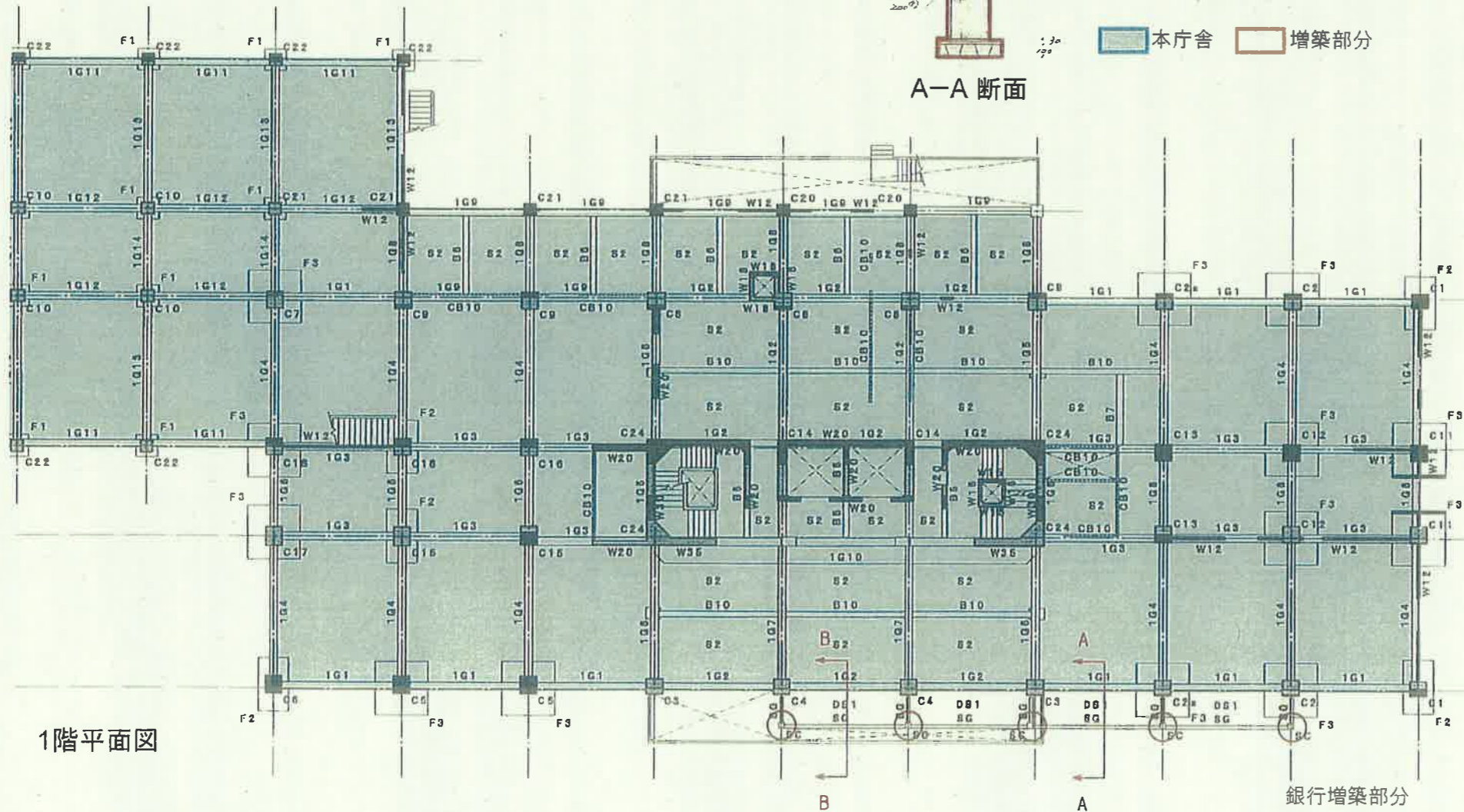
■本庁舎銀行増築部分



A-A 断面

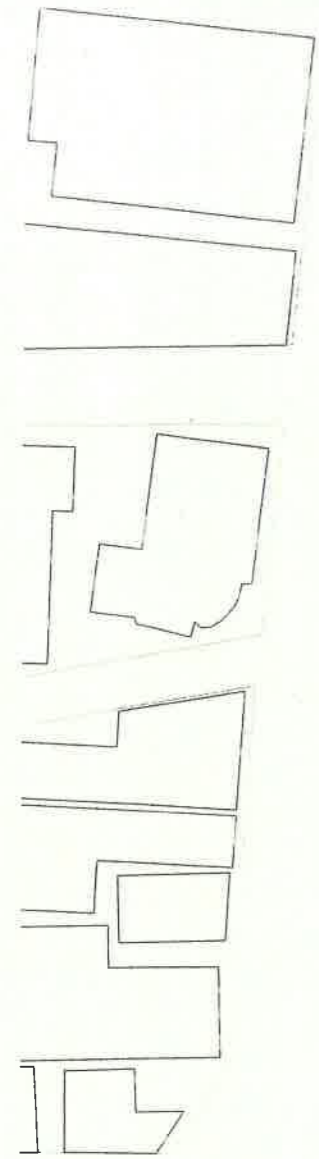


B-B 断面

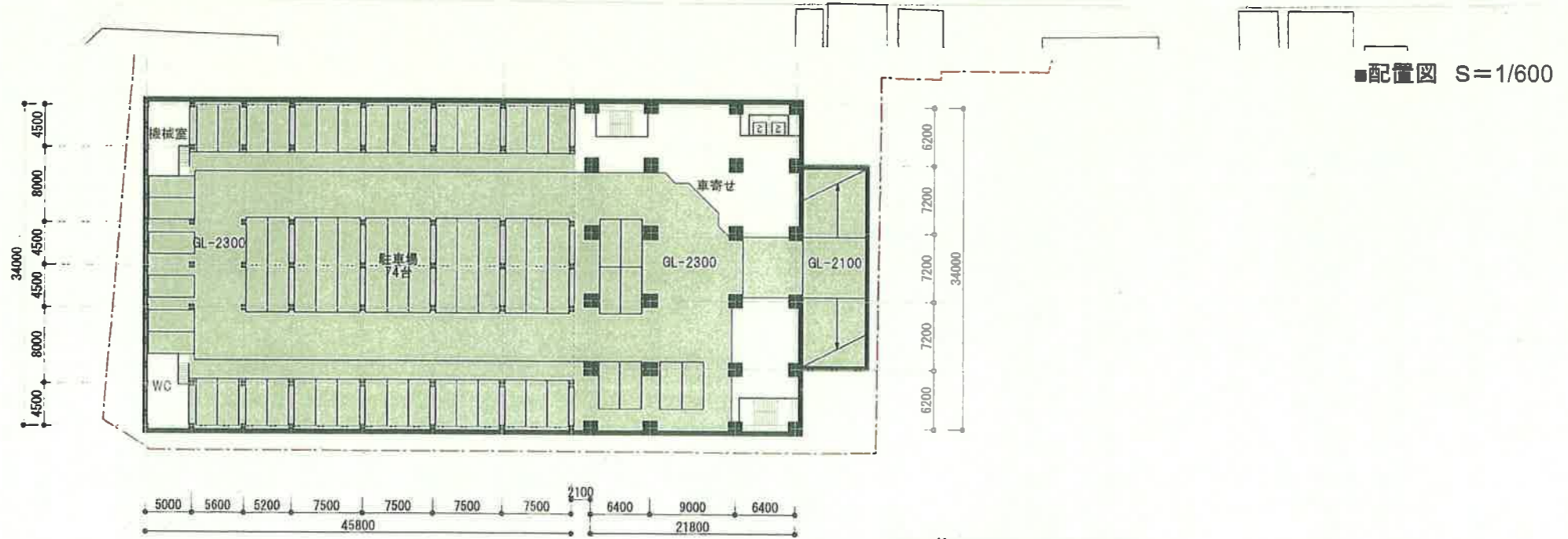
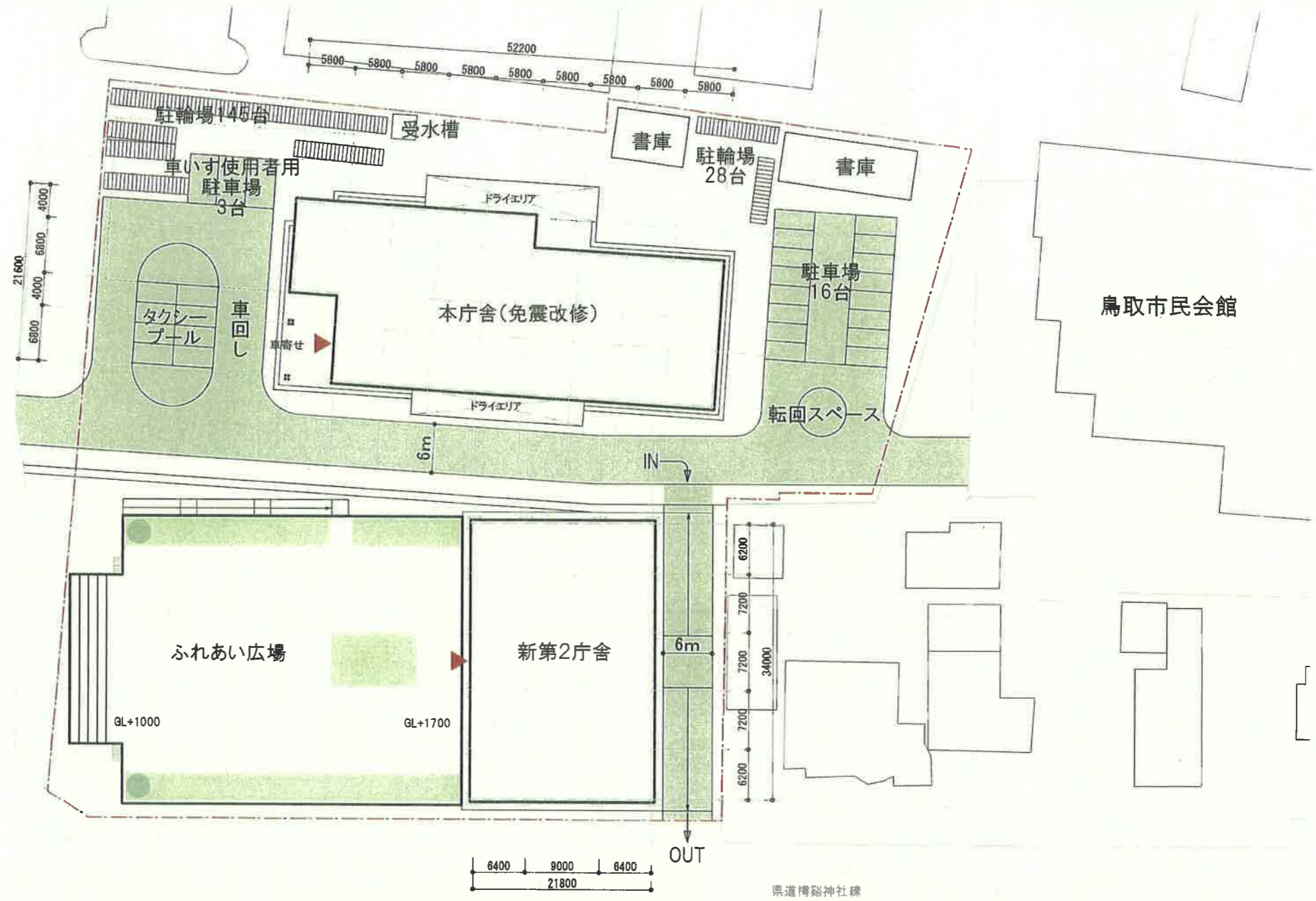


1階平面図

銀行増築部分



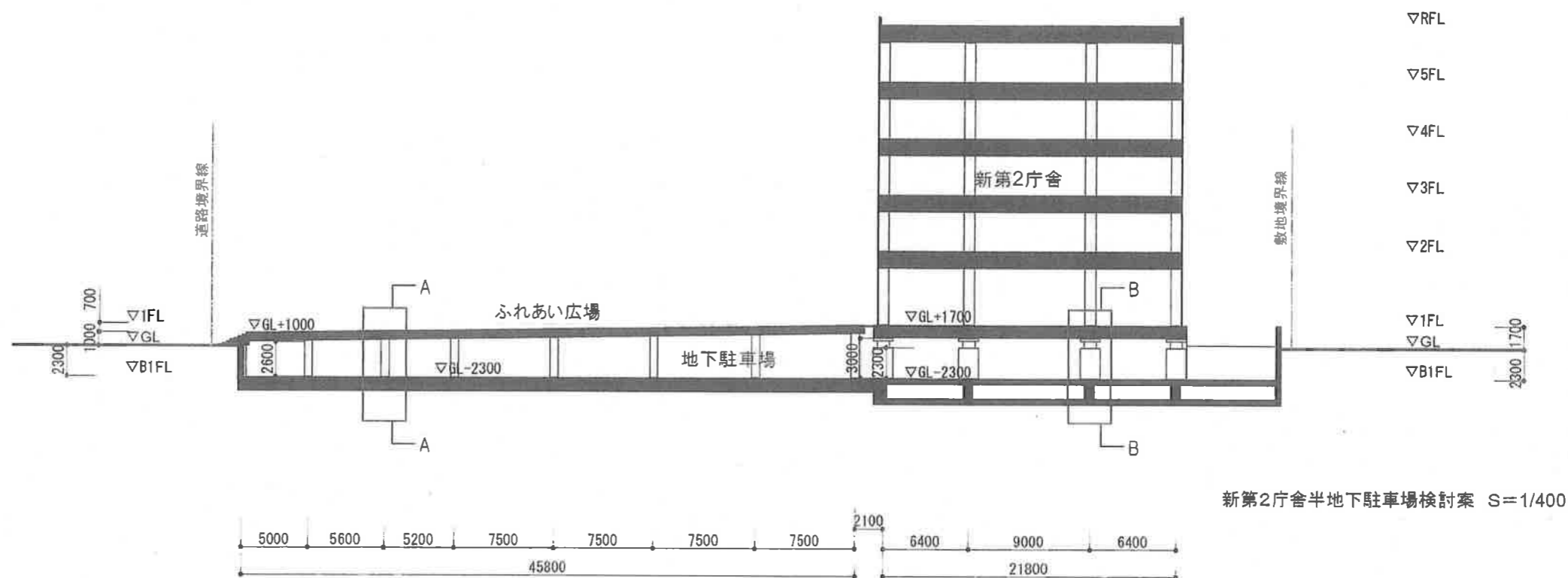
国道58号



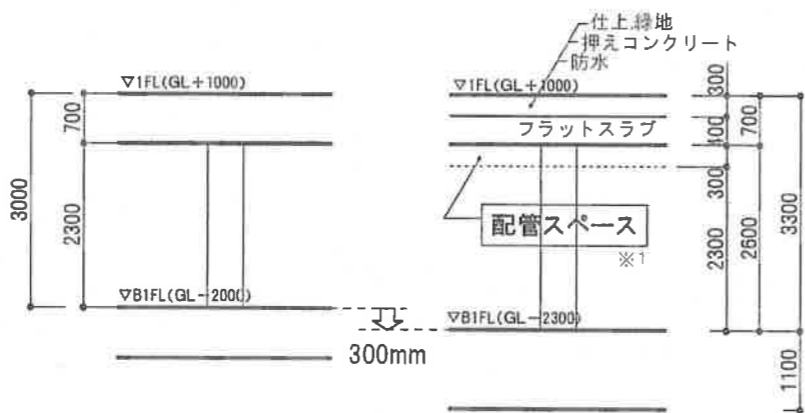
■配置図 S=1/600

■B1階平面図 S=1/600

■ 駐車場断面の検討



□A部断面図



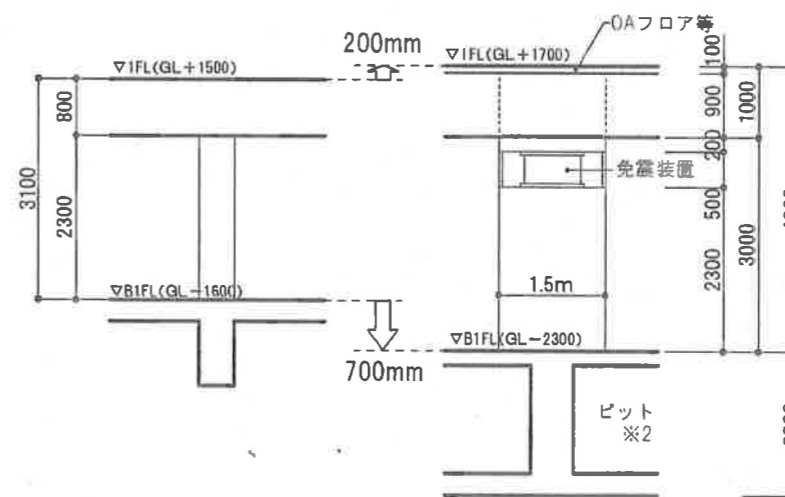
・半地下駐車場部分
調査対象案

・半地下駐車場部分
検討案

※1 電気配管
消火設備配管
感知器等弱電設備配管等

・300mmB1Fレベルを
下げる必要が有る。

□B部断面図



・新第2庁舎地下部分
調査対象案

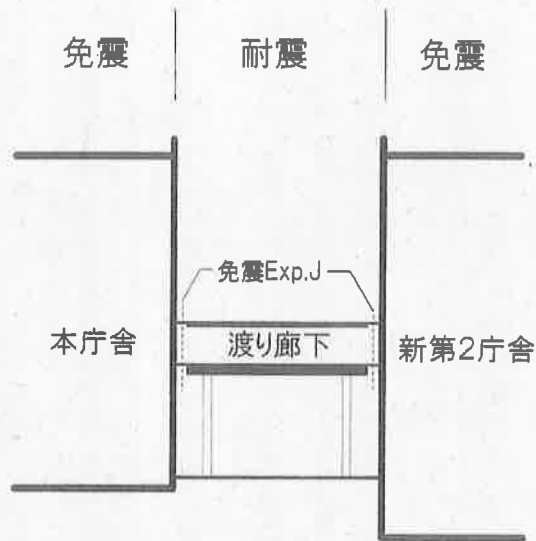
・新第2庁舎地下部分
検討案(フラットスラブ)

※2 汚水槽、消火水槽、
雑用水槽等

・200mm1Fレベルを
上げる必要が有る。
・700mmB1Fレベルを
下げる必要が有る。
・ピットが必要。

部分断面図 S=1/100

■ 渡り廊下について



□ 渡り廊下の仕様

- ・ 屋根および壁の有無の確認

※新庁舎の階高設定で調整が必要となる可能性あり

※渡り廊下に傾斜が出る可能性あり
(バリアフリー法の基準により最大で1/12)

概略断面図 S=1/500



配置図 S=1/1000